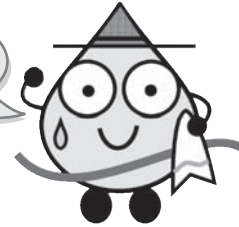


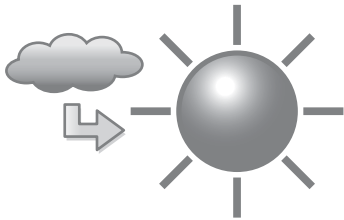
3 調査日はどんな日だったんだろう？

今年は4月から異常な少雨が続き、6月11日頃に梅雨入りしてからも気温が高く、少雨が続き、吉野川からの水利用については取水制限が実施されました。梅雨は7月16日頃に明けましたが、今年の梅雨は前線の活動が弱く、雨はあまり降りませんでした。7月下旬になっても雨は少なく、晴れの日が続きました。

今年は晴れて暑かった…
雨が降らないから川の水も
少なかった…



当日の天気

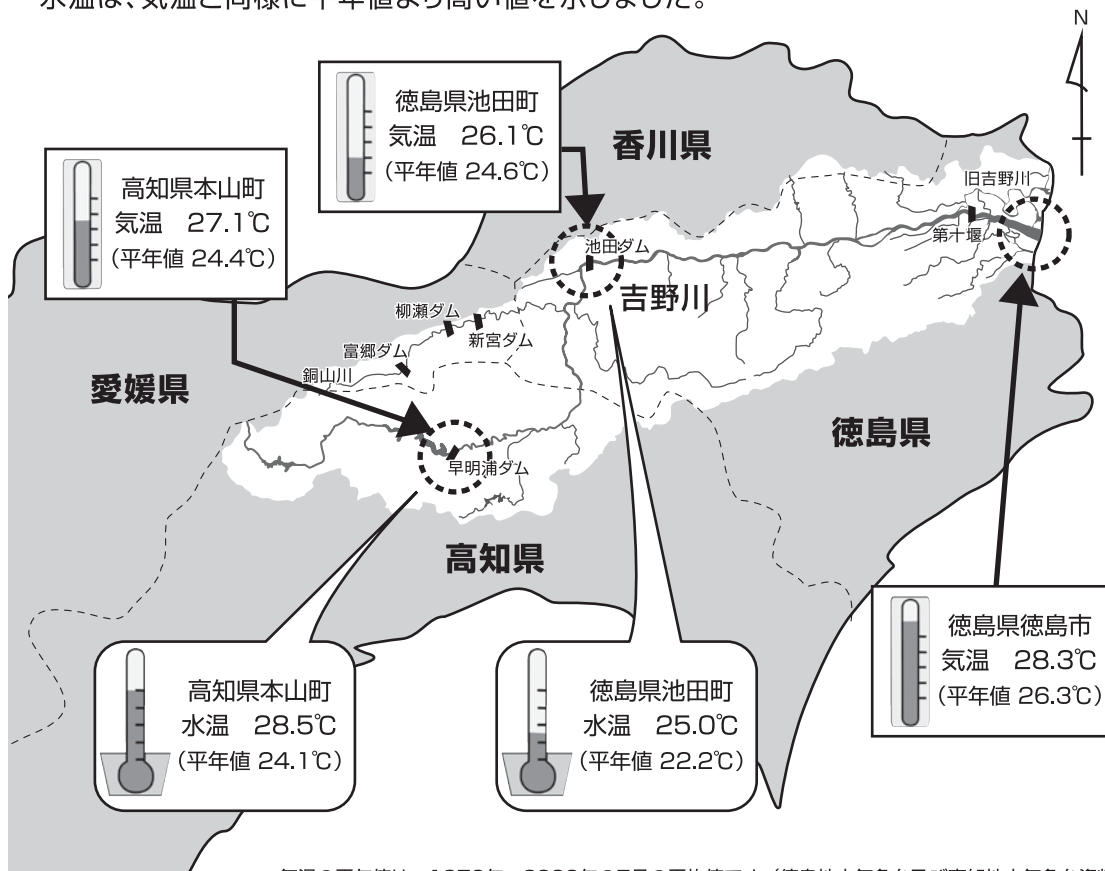


調査日当日は、南から暖かく湿った空気が流れ込み、午前中は一時曇りでしたが、日中は晴れていました。調査日までの約10日間は、高気圧におおわれ、晴れた日が続いていました。

気温と水温

調査当日(7月24日)の平均気温は、下流の徳島市で28.3℃、上流の高知県本山町で27.1℃でした。例年に比べると、暑い中での調査となりました。

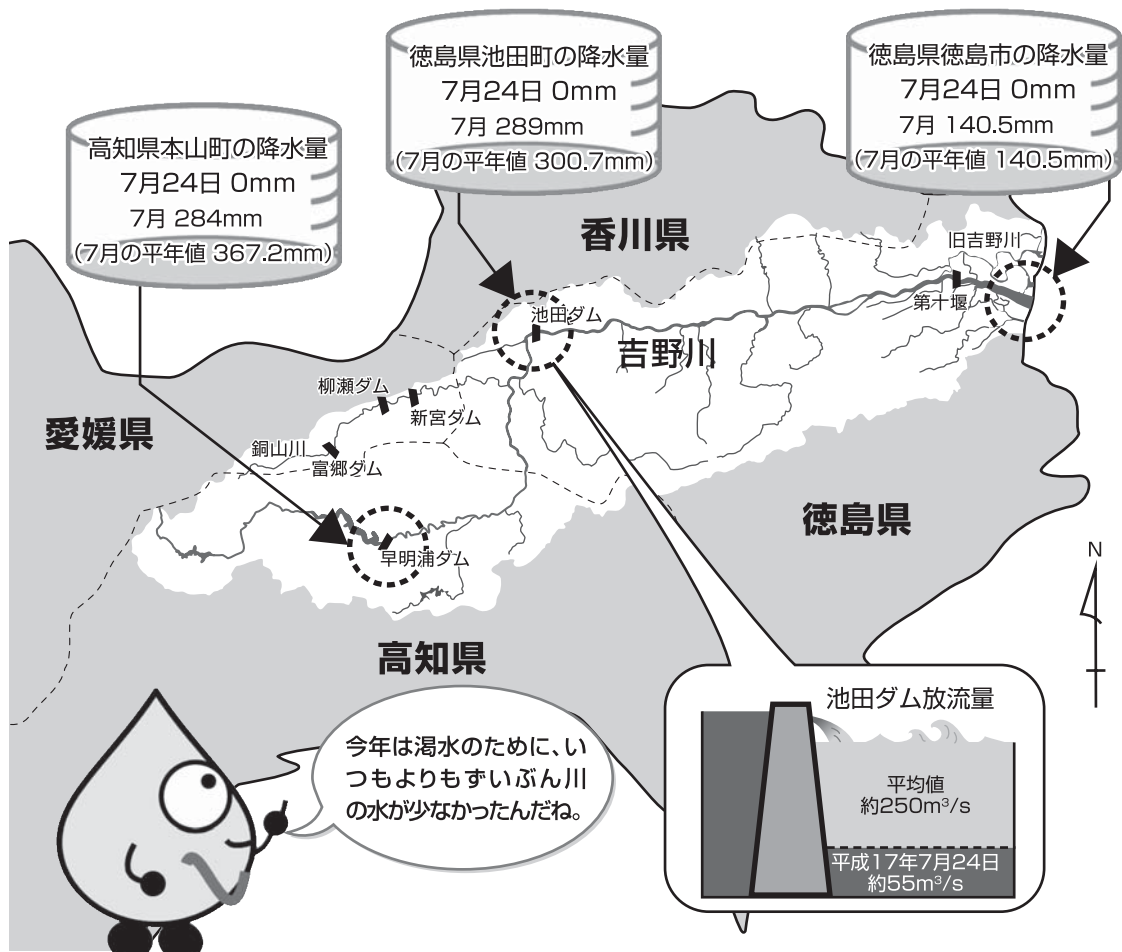
水温は、気温と同様に平年値より高い値を示しました。



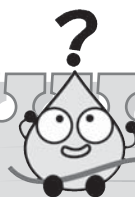
※気温の平年値は、1979年～2000年の7月の平均値です（徳島地方気象台及び高知地方気象台資料）
※水温の平年値は、2000年～2004年の調査日(7月実施分)の平均値です（水資源機構資料）

調査日までの雨や川の水量

調査当日は、流域では雨は降りませんでした。
池田ダムの放流量は、渇水のため過去の調査日の平均値と比べて少なく、およそ20%の放流量でした。みなさんの結果にも、“いつもより川の水の量が少ない”と書いてくれた人がみられました。



※降水量の平年値は、1979年～2000年の7月の平均値です（徳島地方気象台及び高知地方気象台資料）
※池田ダム放流量の平均値は、2000年～2004年の調査日（7月実施分）の結果を平均した値です（水資源機構資料）



流量と水質の関係は？

流量とは、ある地点を流れる水の量のことで、単位はm³/s（立方メートル毎秒）です。

川の流量は、降水量や上流にあるダムの調節などによってかわります。

川の流量が少ないと、魚がすめなくなったり、産卵ができなくなる場合があります。また、渇水時に水質が悪化する川があります。

このように、川の流量が少なすぎると、動植物や水質に悪影響を及ぼす場合があるので、流量をはかることは大切です。

